

# TSUNAMIネットワークパートナーズ通信

## ☆ アソシエイト通信 Vol.19 ☆

今回は、平成18年11月30日(木)、新横浜国際ホテルにて開催された「よこはま高度実装技術コンソーシアム 第一回OB会」について私達アソシエイトが印象に残った部分など、一部分ではございますがお伝えいたします。

### ★ よこはま高度実装技術コンソーシアム(YJC)とは？

YJCは、地域の実装技術に関する産学官のニーズとシーズ「交流の場の提供」と、技術問題の解決や企業間の共同研究開発の促進により事業化の加速を図るべく、企業、大学、実装技術専門家をメンバーに加え、本年7月にこのコンソーシアムが設立されました。設立後は創立記念シンポジウムに引き続き、定期的に研究会、セミナー等活発な活動が続けられています。

### ★ OB会とは？

OB会は上記コンソーシアムの活動の一環としてこのたび初めて試みられ、実装を中心としてエレクトロニクス業界で活躍されてきた皆様と、オープンな情報交換の場を提供することを目的とします。今回限りの単発の会ではなく、今後も定期的に開催していく予定です。企業の枠を超え、専門知識や技術をベンチャー支援、産学連携に生かせるよう活動を広げていきたい所存です。設立趣旨・活動、運営形態につきましては右下欄を御覧下さい。

YJCでは、法人会員、個人会員を募集しております。会員特典として、1. 実装技術に関する情報提供、2. セミナー・研究会の参加、3. 技術相談の優遇、4. 共同研究に関する専門家による情報提供、斡旋、5. ベンチャー経営支援の優遇などがございます。会費は無料です。会員申込みをされたい方は下記YJCのホームページを御覧頂き、申込書フォームをお送り下さい。

YJC ホームページ: <http://www.y-jisso.org/>



熱心に講演を聴く100名を越す参加者の皆様



第二部交流会の様子、OB会発起人の蓑宮様 (右から二人目)

### 【第一回 OB会 プログラム】 主催: YJC

- 日時: 2006年11月30日(木) 16:00~20:00
- 場所: 新横浜国際ホテル 南館 2F
- プログラム (第一部: 講演会 第二部: 立食形式交流会)

- ★ 主催者挨拶 白鳥正樹氏  
YJC理事長 横浜国立大学大学院工学研究院 教授
- ★ OB会発起人挨拶 蓑宮 武夫氏 有限会社みのさんファーム代表取締役  
(元ソニー株式会社執行役員上席常務)
- ★ 基調講演 「NEDOの研究開発状況と今後の実装技術課題」  
独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構  
(NEDO 開発機構) 電子・情報技術開発部 主査 齊藤 雅之氏  
URL: <http://www.nedo.go.jp/>
- ★ 講演1.  
「新しいアプリケーションが要求する2次元 SMT 技術から3次元 SIP 技術実装技術」  
J-SIP 株式会社 代表取締役社長 藤津 隆夫氏  
URL: <http://www.j-sip.co.jp/>
- ★ 講演2.  
「フレキシブル配線板(FPC)のカバーレイ用ポリイミドインクの開発動向について」  
株式会社ピーアイ技術研究所 技術担当取締役 ウィン モーソー氏  
URL: <http://www.pird.co.jp/>

当日は、まず主催者である YJC を代表し、YJC 理事長の横浜国立大学大学院・白鳥教授よりご挨拶がありました。設立当初よりことあるごとに YJC の活動の必要性をお話しになってこられたことが、今回じわじわとそのスピリットが参加者の皆様に浸透しているように感じました。引き続き今回の OB会発起人である元 SONY 執行役員上席常務の蓑宮武夫様より、ご挨拶がありました。『モノ造りこそ日本の国民性を最大限発揮させる産業』というお話が印象的でした。司会者の提案により、参加者の皆様の拍手をもちましてご賛同を得、蓑宮様が今後 OB 会の「座長」として就任して頂くことになりました。蓑宮様には今後も会の発展のためご尽力を頂きます。

引き続き行なわれた基調講演では、NEDO の齊藤様より技術開発の方向性、今後取り組むべき課題についてわかりやすくお話しを頂きました。その後は実際に SiP 実装技術に関わる J-SiP 株式会社の藤津社長様、株式会社ピーアイ技術研究所の技術担当取締役ウィン モーソー氏にご講演頂きました。SiP 技術とポリイミドの現状、いずれも今後の開発状況について講演されました。日々直接技術に関わっている方々だけに最新の動向をお聞きでき、貴重な体験でした。参加された皆様にはアンケート記入をお願いしましたが、「実装のことが理解できた」、「技術トレンドがわかった」、「また続けてほしい」、「OB 会での情報交換が楽しみ」といった感想が多く寄せられ、今後の活動へ大きな手応えを感じております。第二部の立食形式・交流会では、各自活発な意見交換が行なわれ OB 会に対する期待の聲が寄せられました。一部、二部ともに100名を越す方々にご参集頂き、盛況のうち幕を閉じました。御礼申し上げます。今後も皆様方の意見も参考にしながら、より実のある会にしていけたらと思っております。よろしくお願い申し上げます。

### ★ OB会の趣旨・活動・運営について ★

#### 【趣旨と活動】

- ・「OB会」はイノベーションの創生に向けて、YJCの活動を支援する事を目的とする。
- ・「OB会」は OB 同士の交流を深める。
- ・「OB会」はその参加者が有機的にネットワークを形成し情報交換する場を提供する。
- ・「OB会」の参加者は、企業などでエレクトロニクス産業に従事または支援してきた十分な知識と経験を有し、現在様々な立場でイノベーションの担い手となるべく活動をしている方とし、個人の資格で参加するものとする。

#### 【運営形態】

- ・「OB会」は1名の座長をおき、参加者の名前、メールアドレスを名簿に登録する。
- ・上記趣旨に基づき、年間数回の顔合わせ交流会を開催する。
- ・「OB会」登録者は YJC 会員となる。(YJC の会費は当面無料)

#### ～「OB」という言葉の定義について～

OBの意味は、企業のOB、また、前の会社のOB、あるいは大学のOBなどお立場はそれぞれです。こちらの会では「豊富な経験を持っておられてそれを今後とも活用しようという意思のある人」という意味でとらえております。